

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/03/28号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

インフレと円安で円建てゴールド歴史的高値更新

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



FRBパウエル議長の今後の金利上げについて、今後0.25%ではなく0.5%の上げもありえるとの踏み込んだタカ派発言があり、米10年物長期金利は大きく上昇しました。金曜日には2.5%にタッチし、週初の2.15%から0.35%も上がったこととなります。2.5%という長期金利のレベルはほぼ2年ぶりです。それに対してゴールドは下げず、逆に上昇。2年前長期金利が2.5%であったときのゴールドのレベルが1280ドル近辺であったことを考えると現在の1950ドル超えは驚異的なゴールドの上げだと考えられます。やはり金利高よりもインフレをより大きな材料とマーケットは受け取っているようです。インフレに対するヘッジで最も有効なのは言うまでもなく実物資産を保有すること。ゴールドはその意味では最も理想的な資産だと言えます。同じ形でコンパクトに永久的に保存でき、その価値が歴史的に認められ、十分な流動性がある資産は貴金属、特にゴールドにまさるものはありません。ドル建てゴールドは1920ドルから一時1966ドルまで上昇、週末は1958ドルで引きました。一方、ドル円は拡大していく金利差を背景に一挙に119円から120円を超え、後半には122円まで大きく上昇、この結果円建てゴールドは3月9日の歴史的高値7694円を大きく塗り替えて7728円を25日につけてそれが新たな歴史的高値となりました。この円安の流れは、米国の金利が上がっていき、日本の金利がそれに追従するだけの上げとならないと思われる現状では、まだまだ続くと考えるのが自然でしょう。ドル建てのゴールドがインフレヘッジとして買われ、円安もこのまま続くとすると円建てのゴールドはまだまだ上値を追う可能性が十分あるということになります。8000円というレベルもそう遠く無いのではと考えます。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

日本のゴールド価格 3

「山元建値」

これは日本の鉱山会社が発表している価格です。海外ではProducer Priceと呼ばれる価格で鉱山会社が金属を顧客に売る価格というのが基本です。日本では鉱山会社により建値を発表するメタルが決まっています。ゴールドは住友金属鉱山、シルバーは三菱マテリアルです。ゴールドの建値は毎日10時半に発表され、その時点でのロコ・ロンドン価格と為替をベースに計算、それに鉱山会社のコストが乗って、日々によって変化がありますが、スポット価格よりも20-30円ほど高くなっています。

小売価格、山元建値ともに一日の一点での価格にマージンに乗せたものであり、発表された直後からものは過去の価格です。実際のその時点での価格は最近ではネットでリアルタイムのゴールド価格も見れるようになったので（基本的にLoco London Spot価格）、それを参照にするといいでしょう。円建ての価格も同様にリアルタイムでネットでみることができます。

ちなみに2022年3月25日の価格を比較してみます。マーケットの中心である円建てLoco London 価格と小売、そして山元建値とは30円から50円くらいのマージンが乗っていると考えることができます。

Spot 円建て価格 7700円 (9:30am)
小売価格 (税抜き) 7727円(10:30am)
山元建値 7710円 (9:30am)

(円建てゴールドの歴史チャート)



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

